



我孫子ウォーキングを
楽しむための
おすすめスポット
12選!

裏面に各スポットの説明があるうなあ～

我孫子おすすめ
ウォーキングマップ

約4km

手賀沼ふれあいウォーク

1

手賀沼公園

手賀沼観光の出発点。公園先の水辺には、市の鳥オオバン^{おおばん}の他、オナガガモ、カルガモ、ユリカモメ^{もつぎんるい}が群れています。カイツブリやダイサギなどの水鳥や遠くにはミサゴなどの猛禽類がよく観察されます。また、公園を出てすぐ右手にある「文学の広場」も見どころです。我孫子ゆかりの人々の紹介碑があります。

観鳥スポット(※)



2

坂道八景「天神坂」

3

天神山緑地 (嘉納治五郎別荘跡)

4

柳宗悦邸跡※非公開 (三樹荘)

5

杉村楚人冠記念館

天神坂は我孫子で最も美しい坂と言われています。日々の慌ただしさを忘れて、深く呼吸をしてみたいはいかがですか？

坂を登ると右側は、講堂館柔道の創始者で教育家の嘉納治五郎の別荘跡で、今は公園になっています。嘉納は、中止になった幻の第12回東京オリンピックの招致に尽力した、日本人初のIOC委員でもありました。また、左側は非公開ですが、民芸運動の創始者・柳宗悦邸跡で、邸内に椎の大木が三つあることから、三樹荘と呼ばれています。誰が呼び始めたかはわかりませんが、それぞれ「智・財・寿」を表すといわれています。

少し歩くと、明治から昭和にかけて活躍したジャーナリストの杉村楚人冠記念館があります。楚人冠が好んだ椿がみごとな庭園を、自由に散策できます。

6

白樺文学館

白樺派文学と民芸運動に関わる資料館として創設されました。「白樺派と我孫子」「民藝運動と我孫子」という2つのテーマで常設展示を行っています。



7

ハケの道八景・白樺派のこみち小径

志賀直哉邸跡や白樺文学館があり、志賀や武者小路実篤が行き交った道です。通り全体が我孫子のいろいろ八景の1つ「ハケの道八景」として選定されているだけあり、風情のある道が続きます。所々に我孫子ゆかりの絵が描かれた陶板が埋め込まれています。いくつかあるか探してみたいはいかがですか？

8

旧村川別荘

親子二代にわたる西洋古代史学者村川堅固、堅太郎の別荘です。「衣食住」ではなく、村川堅固が目指したのは「住食衣」。住まいを重視した村川堅固が自ら設計しました。

9

子の神大黒天

「子ノ神将」と「大黒天」をまつっています。10月には紫燈護摩(さいとうごま)火渡りの行事があります。

10

鳥の博物館

日本唯一の鳥の専門博物館です。手賀沼の鳥たちをはじめ、世界の鳥を展示しています。

11

手賀沼親水広場とその周りの環境

秋から春先にかけては身近に色々な鳥を観察できる、野鳥の楽園になっています。運がよければきれいでかわいいコイカルにあえるかも。

観鳥スポット(※)



広場にある白い彫刻は「天泉」と題し、永遠の時間(とき)が封じ込まれた白い大理石のくぼみに座ることができます。我孫子の新たなパワースポットかもしれません。

12

まちなみ八景「若松」

手賀沼に面した住宅街は、昭和40年代にできた旧区画と、NTT社宅跡地に建てられた新区画の建物が整然と共存している落ち着いた街並みです。



3館共通券発売中!

「鳥の博物館」「白樺文学館」「杉村楚人冠記念館」の3館共通券は、一般600円、高校生・大学生400円(一人各館1回利用。個人のみ。)で発売中です。単館ごとに全て回ると、一般900円、高校生・大学生600円かかるのでお得です♪※中学生以下は3館とも無料です

(※)観鳥スポットの内容はマップ作成時の11月頃ののものになります。

寄り道エリア

作成:手賀沼ふれあいウォーク実行委員会

協力:あびこ市民活動ネットワーク

あびこガイドクラブ、我孫子市史研究センター、我孫子の景観を育てる会、我孫子の文化を守る会、我孫子野鳥を守る会

